

[7] 子供にコロコロ

(1) 基本的に

- ① 東洋医学の世界では、生物学的な大人、つまり、第2次性徴出現以前を子供と見る。
- ② 正中腺（縦）と脇腹（横）と手足の指（末端）を整え、陽明で気を下げるのが基本。
- ③ 子供は野生動物、触ることが大切。動物の母親が舐めることと同じ。
- ④ 歪みや痙攣が大人並の子が増えてきている。（治療は大人に準ずる）
- ⑤ 現在では、生物学的大人と社会的大人の年齢差が大きいことも思春期の病気の原因。
- ⑥ 甘い物(白砂糖)の過食者は、ツボが消えにくい。（化学調味料,精製塩,添加物も）

(2) ツボが出やすい所

- ① 正中（縦）：身柱、命門、後頭部、臍の周り
- ② 脇腹（横）：京門、章門、帯脈
- ③ 手足の陽明：特に、手の前腕、示指・拇指側
- ④ 手足の末端：井穴、指端、指裏横紋端、八邪八風
- ⑤ 症状別　　：くすぐったがる所などが効果的
 1. 肺　　：中府、肩貞,肩甲間部
 2. 腹　　：中完,左梁門～腹哀、膈肝脾俞
（灸、皮内鍼）
 3. 心　　：膻中、勞宮
 4. 疳の虫　：手陽明（示指の拇指側）（灸）
 5. 慢性病　：足の指端、指裏横紋端（灸）
 6. 脳性麻痺：足の指端、指裏横紋端（灸）
強張り部分を弛める、特に胴
操体など子供が喜ぶものがよい
 7. 傷、虫刺：そこに糸状灸（擦り傷は棒灸）
 8. 打撲　　：境目と中心に糸状灸（四畔の灸）
局所冷却（ビニール袋に入れた氷の角を当てる）

(3) 手順

- ① 基本的な小児鍼（ローラー鍼、硬めの歯ブラシ、ブロアブラシ）
肩甲間部(縦に) → 両脇腹(横に) → * → 手の前腕(末端へ)
*：症状の出ている所（くすぐったがる所）を加える
・この順に、くすぐってもよい
・0歳児は、ブロアブラシ（チークブラシ、書道の筆）で充分
- ② 灸（補の灸）
座位→うつ伏せ→仰向け→手示指指端（骨空や親指側横紋端でもよい）
・ツボが出ている所のみで良い
・手示指指端：ほとんど捻らない糸状灸で軽く寫の灸（子供はノボセやすいので）